

2010年3月の東北地方の天候

【3月の特徴】

- 記録的な寡照
- 東北日本海側の多雨

(1) 2010年3月の概況

この期間、日本海や本州南岸を低気圧が短い周期で通過することが多く、東北地方は月を通じて低気圧や前線の影響を受けやすかったため、曇りや雨または雪の日が多くなった。このため、東北地方の月間日照時間はかなり少なくなり、1946年以降の3月として月間日照時間の少ない方からの1位の値を更新した。また、東北日本海側では月降水量はかなり多くなった。9日から10日にかけては、低気圧が本州南岸を東進後、三陸沖を急速に発達しながら北東進した影響で東北太平洋側の沿岸部を中心に大雪となり、八戸では10日の降雪の深さの日合計が61cmと年の1位の値を更新した。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北地方でかなり少ない。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で68%と少なく、東北太平洋側で138%と多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、日本海や本州南岸を低気圧が短い周期で通過したため、曇りや雨または雪の日が多くなった。9日から10日にかけては、低気圧が本州南岸を東進後、三陸沖を急速に発達しながら北東進した影響で東北太平洋側の沿岸部を中心に大雪となり、八戸では10日の降雪の深さの日合計が61cmと年の1位の値を更新した。大雪により、岩手県や宮城県でビニールハウスの倒壊や停電、交通障害などが発生した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。

中旬：この期間、日本海や本州南岸を低気圧が短い周期で通過したため、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多くなったが、東北太平洋側では天気の崩れは小さく、晴れる日もあった。低気圧の通過後は一時寒気が南下して気温が低くなる日もあったが長続きせず、その他の日は南から暖かい空気が流入して気温の高い日が多くなった。なお、12日は山形県でなだれによる被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

下旬：期間の前半は、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の日が多くなった。期間の後半は高気圧におおわれて晴れる日もあったが、気圧の谷や強い寒気の影響で曇りの日が多く、気温が低かった。なお、21日は低気圧が日本海を発達しながら北東進した影響で広い範囲で風が強まり、東北北部を中心に強風による被害や交通障害が発生した。また、27日は気圧の谷の影響により秋田県で強風による被害が発生した。

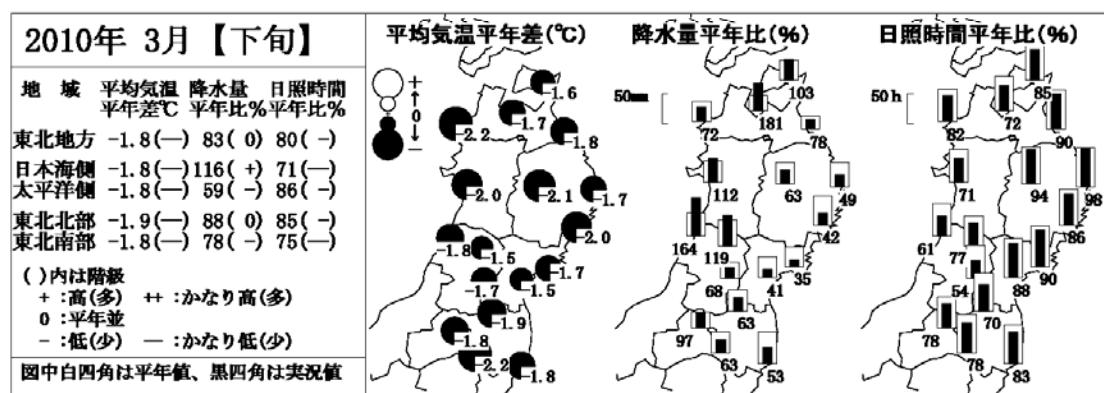
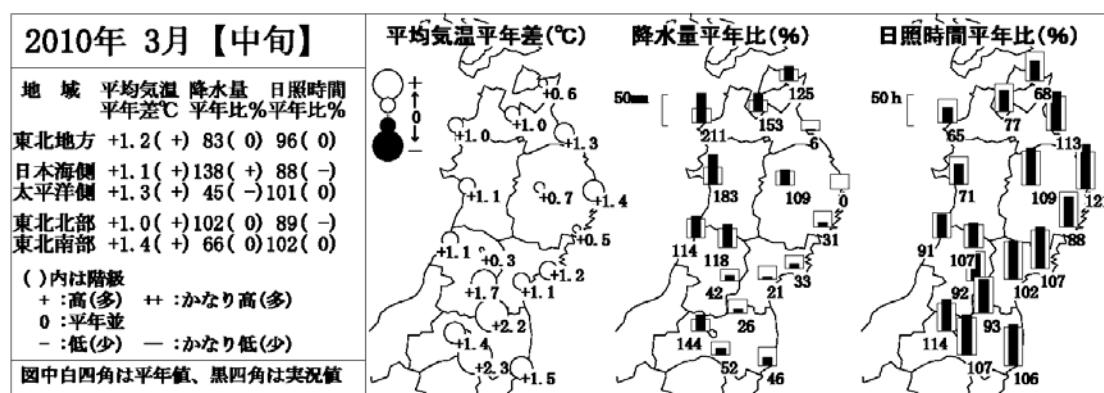
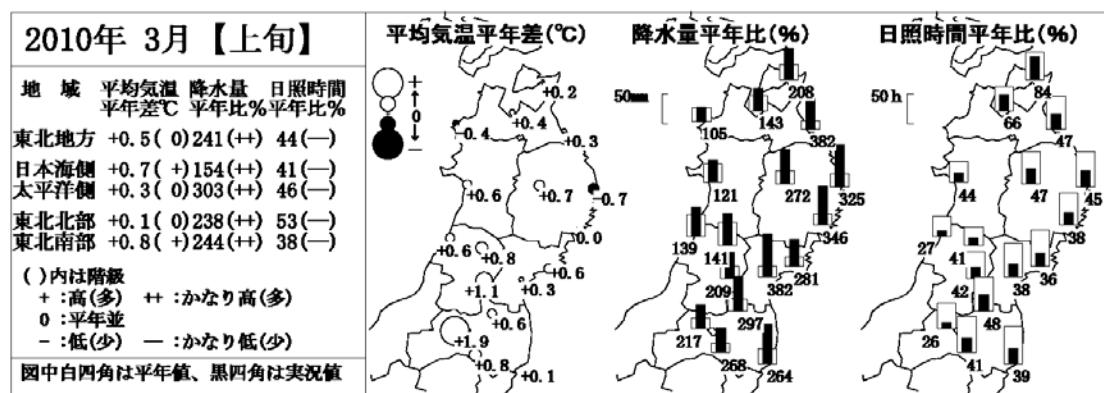
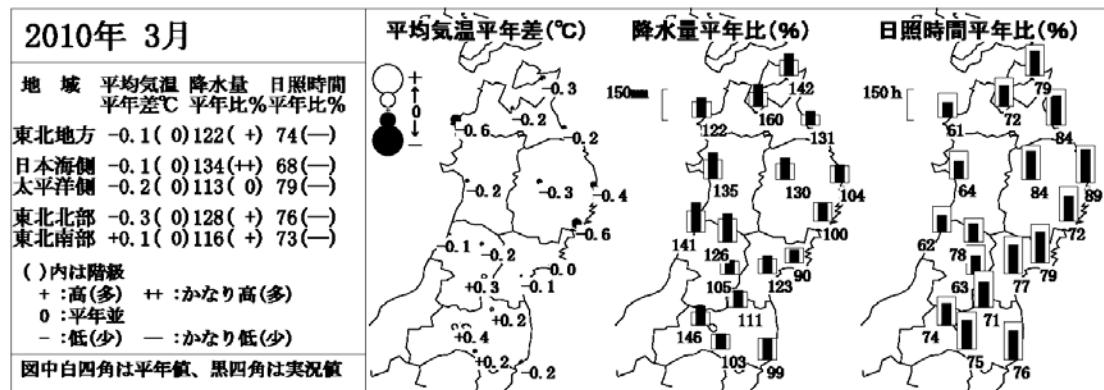
平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2010年3月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971~2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2010年3月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森	1.8	(-0.2)	○	111.0	(160)	+*	16	101.6	(72)	-*	80	(97)	-	57	(84)	-
深 浦	2.0	(-0.6)	-	95.5	(122)	+	19	73.4	(61)	-*	26	(53)	-*	9	(27)	-
む つ	1.1	(-0.3)	○	110.0	(142)	+*	16	122.5	(79)	-*	91	(95)	○	54	(52)	○
八 戸	2.1	(-0.2)	○	67.5	(131)	+	7	145.8	(84)	-	68	(56)	+	61	(17)	+
秋 田	3.0	(-0.2)	○	126.0	(135)	+	20	86.8	(64)	-*	36	(51)	-	11	(20)	○
盛 岡	1.5	(-0.3)	○	104.5	(130)	+	14	140.5	(84)	-	75	(60)	+	26	(20)	+
大 船 渡	2.9	(-0.6)	-	92.0	(100)	○	14	121.0	(72)	-*	36	(13)	+	18	(6)	+
宮 古	2.6	(-0.4)	-	89.0	(104)	○	10	162.8	(89)	-	70	(47)	+	42	(18)	+
仙 台	4.4	(-0.1)	○	89.5	(123)	+	9	141.1	(77)	-*	30	(15)	+	24	(7)	+
石 卷	3.7	(0.0)	○	63.5	(90)	○	10	149.2	(79)	-*	11	(11)	○	6	(9)	○
山 形	3.4	(+0.3)	○	69.5	(105)	○	15	91.9	(63)	-*	46	(71)	-	13	(27)	-
新 庄	1.8	(-0.2)	○	141.5	(126)	+	21	91.4	(78)	-*	109	(134)	-	76	(98)	○
酒 田	4.1	(-0.1)	○	146.0	(141)	+*	21	78.7	(62)	-*	36	(43)	○	15	(14)	○
福 島	5.1	(+0.2)	○	85.0	(111)	○	16	126.9	(71)	-*	38	(34)	○	17	(10)	+
若 松	3.4	(+0.4)	○	93.0	(146)	+*	18	104.0	(74)	-*	32	(74)	-	10	(28)	-
白 河	3.8	(+0.2)	○	73.5	(103)	○	15	138.4	(75)	-*	19	(32)	○	10	(10)	○
小 名 浜	6.0	(-0.2)	○	105.5	(99)	○	13	142.9	(76)	-*	()	()	()	()	()	()

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

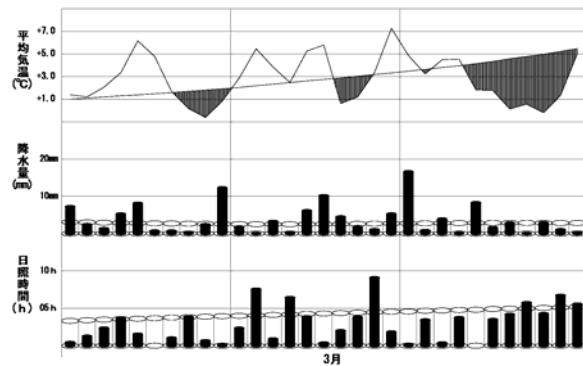
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

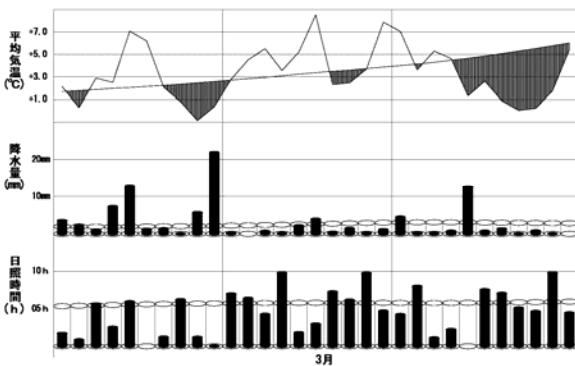
3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

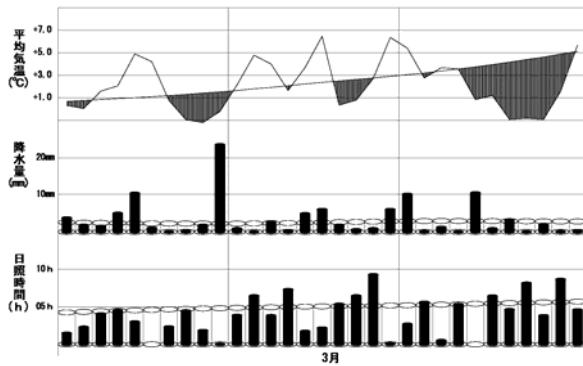
(5) 2010年3月の日別経過図



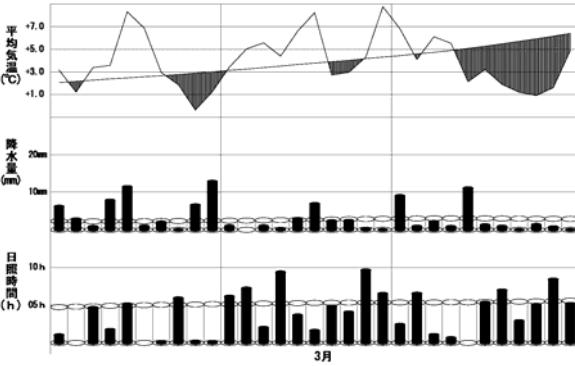
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東北北部の日別経過図



東北南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平均値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2010年3月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
2	大船渡	121.0	72	101.7 (1995)	1964	168.7
	若松	104.0	74	96.4 (1966)	1954	140.1
	酒田	78.7	62	74.1 (2007)	1937	126.1
3	山形	91.9	63	84.8 (1895)	1895	146.5
	白河	138.4	75	127.8 (1955)	1940	183.4

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

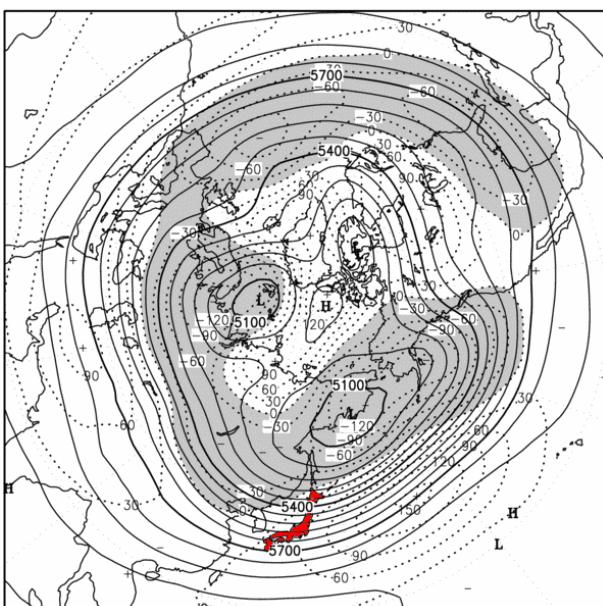
順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
2	大船渡	36	46 (1969)	1964	13
	八戸	68	75 (1983)	1953	56

月最深積雪大きい方からの順位更新

順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
1	八戸	61	10	55 (1984)	1937	17
3	仙台	24	10	28 (1954)	1927	7

(7) 2010年3月の循環場の特徴

500hPa 高度では、中国東北区からオホーツク海、アラスカにかけて広く負偏差となった。一方、日本のはるか東は明瞭な正偏差となり、日本付近も東西にこの正偏差におおわれた。このため、前線帯が北に押し上げられ、低気圧や前線が平年に比べ北よりの本州付近や日本海を通過することが多くなり、東北地方は曇りや雨または雪の日が多くなった。



2010年3月の平均500hPa高度

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）